

# オオマチ カワシマ 大町・川島地区

(石川県鳳珠郡穴水町)

- 計 画 期 間 平成 19 年度～平成 23 年度
- 面 積 67 h a
- 交付対象事業費 351 百万円
- 町人口 7,829 人 (地区内人口 1,847 人)

## ポイント

平成 19 年 (2007 年) 能登半島地震からの復興と豊かな地域個性と賑わいにあふれる、安全・安心・快適で魅力的なまち

## 地区概要

中心市街地は、町家や土蔵等の歴史的建造物も散見され、また中心市街地を縫うように河川が流れ、街なかに豊富な水辺空間を有している。

## 目 標

地震災害からの復興とあわせて中心市街地の居住環境の向上を図り、住民一人一人が安全・安心・快適に住み続けられる災害に強いまちづくりを目指す。

## 指 標

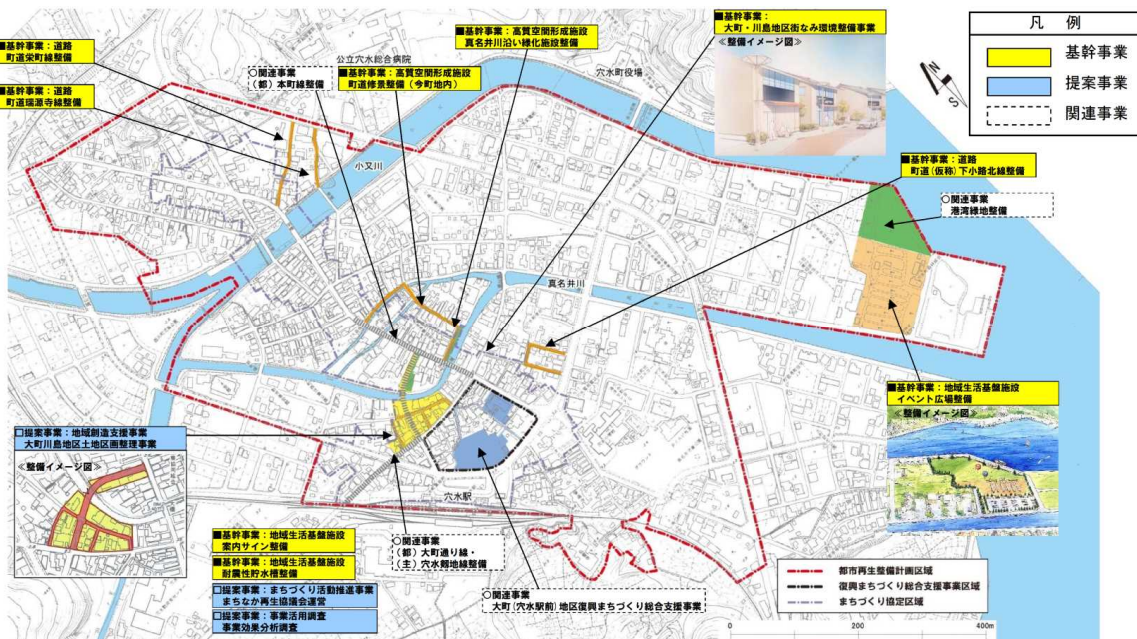
中心市街地の活性化と居住環境の向上により、街なか居住を促進し、地震災害による中心市街地の人口減少に歯止めをかける。

雪中ジャンボかきまつりの入込客数	20,000 人	H17 末	→	21,000 人	H23 末
中心市街地の定住人口	2,236 世帯	H17 末	→	2,236 世帯	H23 末
宿泊施設入り込み客数	16,605 人	H17 末	→	17,000 人	H23 末

## 事業内容

基幹事業 ( 223 百万円) → 道路 (3 路線 幅員 4.8m~5.1m 延長 400m) イベント広場整備 (A=8,900 m<sup>2</sup>)、街なみ環境整備、案内サイン整備 (5 箇所)、耐震性貯水槽整備 (4 箇所)、町道修景整備 (延長 260m)、真名井川沿い緑化施設整備 (A=270 m<sup>2</sup>)

提案事業 ( 128 百万円) → 土地区画整理事業 A=0.7ha、まちなか再生協議会運営



## 地区の現況と課題

・穴水町においても全国の多くの市町村と同様に、人口減少（町体, S50年：15,111人→H16年：11,362人 中心市街地, S50年：3,496→H16年：3,161人）、少子高齢化（高齢者率 S50年：14.0%→H16年：32.8%）、中心商店街の衰退（郊外型大型店舗の進出、空き店舗の増加、商店街の業種数の減少）など、中心市街地の活力低下が進行している。

## 提案事業の特徴

・「土地区画整理事業」能登半島地震によって大きく被災した穴水駅前地区の約0.7haを対象に公共施設の整備改善及び良好な宅地造成を実施する事業であり、住宅再建の基盤を創出する。

・「まちなか再生協議会運営」穴水町中心部の復興に向けた地域住民主体の協議会活動の運営を側面から支援するために、まちづくり専門家の派遣を行うなど、地域の復興まちづくりに対する継続的な活動を下支えし、住民自らが主体的にまちづくりに取り組む機運を高める。また、明治時代に穴水を訪れた天文学者パーシバル・ローエルに因んだ地元住民協働の親水イベント「カフェ・ローエル」の開催を支援する。

## 計画策定プロセス

・平成19年3月25日に能登半島を震源とする地震が発生し、本町においても震度6強を観測した。古くからの中心市街地を形成する当該地区では全壊住家72戸を含む壊滅的な打撃を被った。本地区では、地震発生以来今日まで官民が一丸となって地域の生活基盤の復興を最優先に取り組んでいるところであるが、今後は災害に強いまちづくりを推進するとともに、魅力あるまちづくり活動の展開を図りながら、地域活力の再生、向上に努めていくことが望まれている。

- ①能登半島地震で大きな被害を受けた道路、宅地等、都市基盤の復興、整備を行う→【提案事業】：穴水町大町川島地区土地区画整理事業
- ②誰にでも快適で安心な居住環境を実現するため、生活道路や街なみの整備を行う→【基幹事業】：街なみ環境整備事業
- ③中心市街地の活性化と賑わい創出のため、交流拠点施設の整備、イベント広場整備、商店街のシンボル化などの整備等を行う  
→【基幹事業】：地域生活基盤施設整備：広場（イベント広場整備）  
→【提案事業】：まちづくり活動推進事業：まちなか再生協議会運営

### 穴水町大町川島地区土地区画整理事業

整備前



整備後



カフェ・ローエル



### 街なみ環境整備事業



広場（イベント広場整備）：まいもんまつり

